

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

た.く.さん.ス.ギ.ラ.ン.ド.

安.ぼ.う.小.三.年. 赤.松. 始

「あ.れ.」.お.父.さん.道.ま.ち.が.て.な.い.？.

ヤ.ク.ス.ギ.ラ.ン.ド.で.こ.ん.な.山.お.く.に.あ.る.の.

わ.た.し.は.そ.う.思.っ.た.わ.た.し.は.ヤ.ク.ス.ギ.ラ.

ン.ド.で.遊.園.地.か.何.か.と.思.っ.て.り.ま.し.た.

う.し.て.い.る.と.入.口.に.こ.う.着.車.を.お.り.る.と.

す.ず.し.さ.に.ひ.っ.く.り.し.て.ま.わ.り.を.見.あ.た.す.

と.木.だ.ら.け.の.た.だ.の.木.林.で.す.そ.う.な.の.で.す.

ヤ.ク.ス.ギ.ラ.ン.ド.は.ジ.エ.ツ.ト.コ.ー.ス.タ.ー.モ.か.

ん.さん.車.も.な.り.た.だ.の.木.林.な.の.で.す.

で.も.森.を.歩.い.て.み.る.と.木.の.大.き.さ.に.ビ.ッ.

ク.リ.し.ま.し.た.し.か.も.大.き.い.木.が.た.く.さ.ん.

あ.り.す.ぎ.ま.す.そ.し.て.少.し.歩.い.た.ら.き.れ.い.

な.川.が.な.か.れ.て.い.て.水.に.お.り.て.く.つ.を.ぬ.

い.で.つ.め.た.り.水.に.足.を.つ.け.て.み.ま.し.た.川.の.

水.が.つ.め.た.す.お.て.長.く.は.つ.け.ら.れ.ま.せ.ん.

こ.ん.な.場.所.が.家.か.ら.少.し.で.あ.る.な.ん.と.し.ん.

い.ら.れ.ま.せ.ん.

ヤ.ク.ス.ギ.ラ.ン.ド.で.遊.園.地.み.た.い.な.名.前.

(不.許.複.製.)

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
1 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



愛媛県小学校教育研究会同語部会選定

1 文章の紙み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましよう。
2 段落の初めは、必ず一字下げで書き始め、段落ごとに行を変えましよう。

（ ）月 日 曜日

かけど、こんなはずしくて、屋久島がきゅ
 とつまった場所だなあと思ひ、ヤクスギラ
 ンド、こさいこうなあと思ひました。つめ
 たい川に足をつけて思ひ夏のーときに、一フ
 思ひついたことがあります。ヤクスギランド
 には、たくさんの「スギ」があります。
 まず一フは、屋久「スギ」。その木の大きさは
 大き「スギ」。そして、それが多「スギ」。小さ「スギ」
 につま、た屋久島の森。そして、その森のう
 つくし「スギ」。さい後に、つめたい川の水のつ
 めた「スギ」。合わせて、屋久スギ、大き「スギ」。
 多「スギ」、小「スギ」、うつくし「スギ」、つめた「スギ」。
 ギ。わたしは、こんなたくさんスギなヤクス
 ギランドが大好きです。
 あともう三つのスギを思ひ出しました。そ
 れは、生え「スギ」、生え「スギ」、長「スギ」です。
 一フの木をよくかんさつすると、たくさんの
 植物が生きています。かれ木にやぶる新しい
 木、まさしいのちのリレー、そんなかんじで
 す。まちがひなく、屋久島はパワースポ
 ット。

(不許複製)

3 詩ほどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましよう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましよう。



鹿児島県小学校教育研究会同語部会選定

